

研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

◎対象となる患者さん: 外来心臓リハビリテーションをされている方

1、研究の題名 『経カテーテル大動脈弁留置術前のフレイル^{*1}・サルコペニア^{*2} 評価における退院後の転帰との関連』

*1: フレイルとは加齢により身体機能が低下し、健康に障害がある状態を言います。

*2: サルコペニアとは加齢や筋肉量の減少による身体機能が低下した状態を言います。

研究期間： 倫理委員会承認後 ～ 2025年03月31日

2、研究の目的

経カテーテル大動脈弁留置術前に実施したサルコペニア、フレイルの評価法のうち、何が術後に自宅退院あるいは転院となるかの転帰を予測するのに最も妥当であるかを明らかにして、その評価の意義を高めることです。

3、以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

対象期間： 2018年04月1日 ～ 2025年03月31日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から以下の情報を取得します。

[患者背景] 年齢、性別、身長、体重、同居世帯人数

[検査所見] 血液検査、心エコー検査、栄養評価

[病態] 診断名、病型、手術記録、併存疾患、不整脈の有無

[身体機能評価] 質問指標、フレイル・サルコペニア評価

[リハビリ内容] 術後に歩行を再開するまでの期間、リハビリ実施期間

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院 で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

(科名又は部署名) リハビリテーション部

(研究責任者名) 理学療法士 大西 悠太郎

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

(連絡先) 0948-22-3800(代表)

(担当者名) 飯塚病院リハビリテーション部
理学療法士 大西 悠太郎